

女性起業家から学ぶ

講義の概要

社会で活躍する女性起業家を授業に招き、ご自身の起業体験を語っていただくことを通して、女性にとって働くことの意味や将来のライフスタイルについて、さらには女性のエンパワーメントや地域の活性化の問題について考えることを目的として授業をおこないました。受講生は毎回20名前後で1～4回生の全学年からの参加がありました。ゲストスピーカーは以下の通りです。

第1回（11月10日）株式会社サロンまき 代表取締役 畠山晴衣氏

第2回（11月17日）有限会社 ナイスケアサポート 取締役社長 井尻祥子氏

第3回（12月1日）森村労務行政事務所所長 森村和枝氏

第4回（12月8日）YUMIふあーむ代表 荒木友美子氏

第5回（12月13日）有限会社オフィスウエダ 代表取締役 上田実千代氏

第6回（12月21日）M'sネット 北島真理氏（代表）、多田美帆氏、栗本恭子氏

授業に対する感想

ゲストスピーカーからは、ご自身のこれまでの人生や起業の経緯、経営方針、仕事に対する苦労ややりがいなどを伺うことができました。また学生からの質問にも丁寧に答えていただきました。

学生からは

「仕事に誇り持っていることが感じられた」

「『しっかりと自分軸を持ち、自分自身を信じて一生懸命頑張る』という言葉に学ぶことが多かった」

「『地域に生かされている』という言葉が印象的だった」

「前向きな姿勢とパワーに圧倒された」

などの感想が出され、これから社会へ出ようとする学生たちには大きな刺激となりました。

ワークショップ

12月21日午後は、3つの班に分かれて、「起業をシミュレーションしてみよう」というテーマでワークショップを行いました。各班から「ディサービス・カフェ」、定年退職者を対象にした「トータル美容専門店」、塾通いの子どもたちへの「配達式弁当事業」が提案されました。

全体のまとめ

12月22日はこれまでの授業の総括として、高知大学講師の森田美佐先生より女性を取り巻く労働環境についての講義があり、賃金や待遇面での男女格差を生み出す要因などについて学びました。出席した学生の多くが仕事を続けていきたいとの希望を持っており、活発な議論が行われました。



M'sネットの3名のゲストを迎えた授業



起業アイデアのプレゼンテーション